

心ひとつに

弥富市立桜小学校
学校だより
No.2
平成24年4月18日

掃除をしっかりとやると、心が爽やかになります！

新学期がスタートして1週間ほど経ちましたが、子ども達の様子に変化、成長点がいくつか見られるようになってきました。その一つは、「場を清める」ことに関連しての変化です。清掃をとっても熱心にやる児童が増えてきたことです。「そうじをしっかりとやると、心が爽やかになります」と、5年生のK君が廊下を通りかかった私に話してくれました。まさに、清掃を通して、自然と心が磨かれ、心がきれいになっているのだと思います。

また、6年生の職員玄関掃除の児童は、ちりとりが傷んでいて、うまくごみを集められないことを担任の先生に訴えていました。掃除道具がきちんとそろっていないと、満足なゆく掃除ができません。一生懸命掃除をやっているからこそ、このような訴えが出てくるのだと思います。

そうじをよりよく、質の向上を図るためには、掃除道具をまず揃えることと、その道具をきちんと整理して置き場所を決めることから始めなければならないと思います。そして誰が使っていても、いつでも元の場所に戻すようにしなくてははいけないと思います。

人のために尽くす人に

人のために行動できる子が増えてきました。6日（金）の入学式の後片付けを6年藤組の児童と全職員が行いました。私も一緒にパイプ椅子を片付けていると、兄弟の入学式に保護者と共に来ていた2年生（新3年生）のIさんとKさんが、誰にも言われていないのに、一緒になって運んでくれました。周囲の状況に気付き、人のために尽くそうとする姿に感激しました。

また、荷物を抱えて廊下を歩いておられた教頭先生に、「何か手伝うことはありませんか？」と、6年生のH君が、声をかけてくれたそうです。3年目にして、初めて児童からの優しい言葉に、教頭先生も驚きと感動の表情で話してくれました。

これがあの学年ですか？—大きな進化に驚きと感動

17日（火）に6年生の歯科検診がありました。担当の加藤歯科医さんから、「この学年があの学年ですか・・・？」というお尋ねが、養護教諭の半田先生にありました。4年生のときから、3年間継続して診てくださっている先生なので、6年生の児童の成長ぶり、変化の大きさに感嘆の言葉を発せられたのです。それほど、大きく成長・進化していることを、加藤先生が認めてくださいました。

態度面だけでなく、歯の磨き方まで丁寧でよくなっているそうです。生活態度が落ち着き、歯磨きだけでなく何事にも丁寧に取り組んでいることの証です。本当に嬉しいことです、外部の方が、褒めてくださったことは、6年生の成長が、紛れもない明白な真実だということです。桜小のリーダーにふさわしい成長・進化を遂げている6年生に大きな拍手を贈りたいと思います。



